

第1学年 道徳科学習指導案

令和2年10月19日(月)5校時

男子2名 女子1名 計3名

指導者 村尾京子

- 1 主題名 よいと思うことをすすんで 内容項目 A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任
教材名 「水の広場」(学研「新・みんなの道徳2年」)

2 主題について

(1) 主題設定の理由

① 指導観

人として行ってよいこと, 社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり, 判断したりする力は, 児童が幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。それとともに, より積極的で健康的な自己像を描くことができるようにすることが大切である。そのためには, 何事も積極的に取り組む姿勢が必要となるが, その原動力が自らを信じる姿勢であると考えられる。ただし, それは, 過信や自分勝手ではなく, よいと思ったり正しいと判断したりすることができる力を伴った自信や自立的な態度でなくてはならない。よいこと, 正しいことについて, 人に左右されることなく, 自ら正しいと信じるころから従って, 誠実かつ謙虚に行動することは, 人として重要なことである。特に, 価値観の多様な社会を主体的に生きる上での基礎を培うために, よいことと悪いこととの区別が的確にできるように指導しておくことは重要である。

また, 自己を高めていくには, 何物にもとらわれない自由な考えや行動が大切である。自由には, 自分で自律的に判断し, 行動したことによる自己責任が伴う。自分の自由な意思によっておおらかに生きながらも, そこには内から自覚された責任感の支えによって, 自ら信じることに従って, 自律的に判断し, 実行するという自律性が伴っていなければならない。

② 児童観

この期の児童は, 何事にも興味・関心を示し意欲的に行動することが多い反面, まだ集団生活に十分に慣れていないために, 引っ込み思案になったり物おじしたりすることも少なくない。

指導に当たっては, 積極的に行うべきよいことと, 人間としてしてはならないことを正しく区別できる判断力を養うことが大切である。また, よいと思ったことができた時のすがすがしい気持ちを思い起こさせるなどして, 小さなことでも遠慮しないで進んで行うことができる意欲と態度を育てる指導を充実していくことが大切である。また, 身近な事例を踏まえ, 人としてしてはならないことをしないことについて, 一貫した方針をもち, 毅然とした態度で指導していくことが需要である。

③ 教材観

本教材は, 「きけん 水の広場であそばないで」という立て看板のあるところで, 自分たちより大きな人たちが遊んでいるのを見て, 注意することをためらってしまうという話である。「悪いことやしてはいけないこと」と判断する場面に出会ったとき, 注意をためらうみらいくんと, 進んで注意しようとするあずかさんが対比して描かれている。子どもが善悪の判断で迷うことは日常生活の中にはいくらでもある。いつも正しい判断ができるわけでもない。そういう弱さをもちながらも, よいことを進んで行うことのすがすがしさに気づき, 小さなことでもよいことを進んでしようとする意欲を高めさせることのできる教材である。

(2) 教材について

○ 内容項目の系統（善悪の判断，自律，自由と責任）

<第1学年及び第2学年>

よいことと悪いこととの区別をし，よいと思うことを進んで行うこと。



<第3学年及び第4学年>

正しいと判断したことは，自信をもって行うこと。



<第5学年及び第6学年>

自由を大切にし，自律的に判断し，責任ある行動をすること。



<中学校>

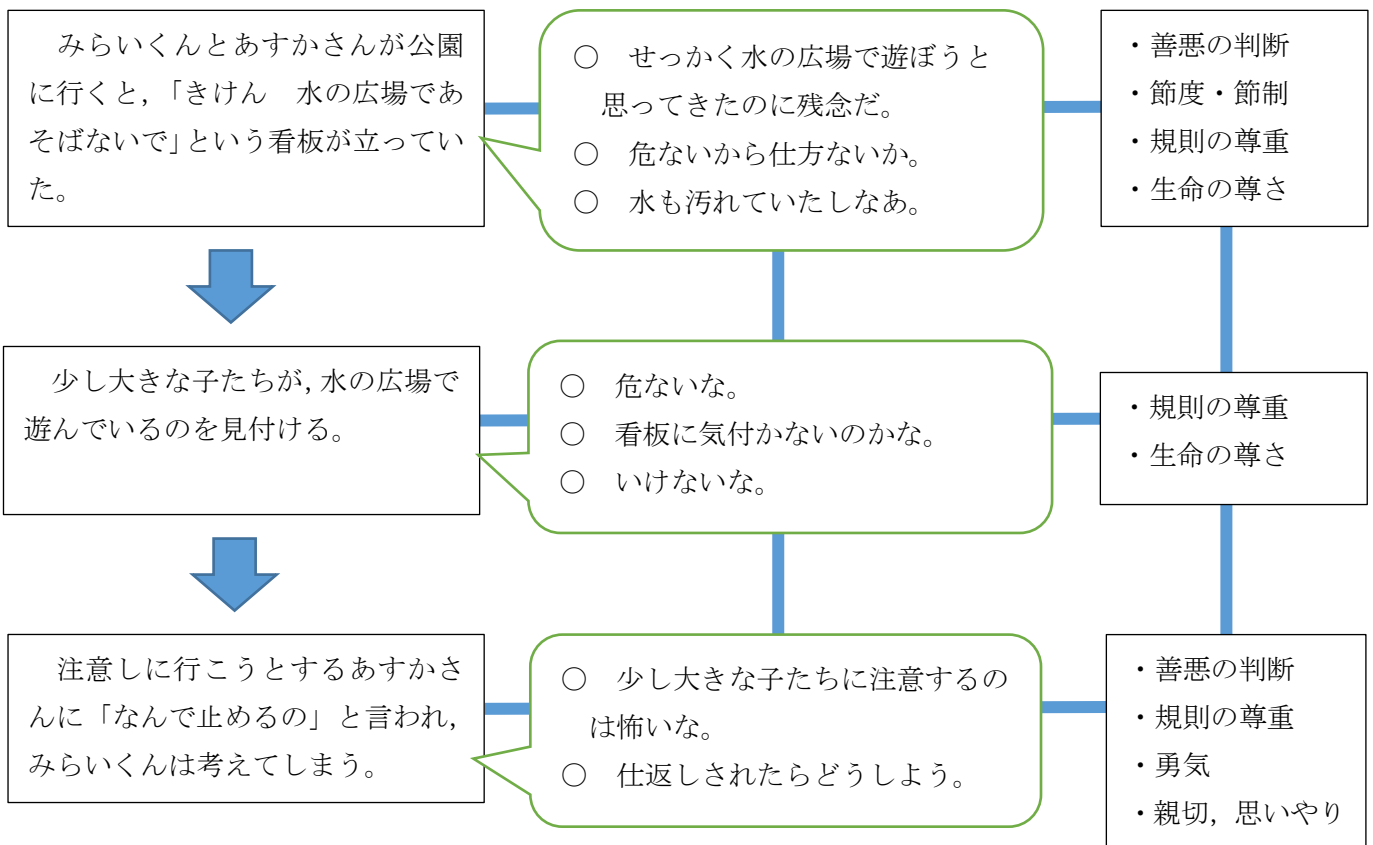
自律の精神を重んじ，自主的に考え，判断し，誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

○ 価値構造図

主な場面

心の動き

道徳的価値との関連



(3) 児童の実態

本主題についての児童の実態は、以下のとおりである。

(調査日 令和2年8月21日 調査人数3人 質問紙法)

【道徳的価値から①~⑥】

① よいと思うことは、進んでほしいですか。
はい 3人 いいえ 0人
② よいと思うことをしたことがありますか。そのとき、どんな気持ちになりましたか。
はい 3人 いいえ 0人
はいの理由 ・ 友達の係の仕事を手伝って嬉しかった。 ・ 友達に課題帳の書き方を教えてあげたときに、できて嬉しかった。 ・ 教室をきれいに掃除した方がいいと思ってしたら、すっきりした。
③ よいことだと思ったのに、できなかったことはありますか。それは、どうしてですか。
はい 1人 いいえ 2人
はいの理由 ・ 手伝ってあげようと思ったけど、自分にはするのが難しかったから。
(追加調査 9月3日 調査人数3人 質問紙法)
④ 授業中に手遊び・・・よい0人 悪い3人 あなたならどうしますか。 ・ 友達がしていたら、だめだよと教えてあげる。 ・ だめだよと声をかける。 ・ 注意する。 ・ 自分がしていたら、手遊びをやめる。 2人 ・ だめと自分に言い聞かせる。 1人
⑤ 遊んでいるときのお手伝い・・・する1人 しない2人 あなたならどうしますか。 ・ 今日はしないという。 ・ ちょっと今遊んでいるからと言う。 ・ 一回遊ぶのをやめてお手伝いをして終わったら遊ぶ。
⑥ つい、嘘をついてしまった・・・よい0人 悪い3人 あなたならどうしますか。 ・ ごめんなさいという。 ・ ごめん,おかあさん,嘘ついちゃったという。 ・ 次からうそをつかないで,正直に言う。

【研究主題との関連から④~⑤】

⑦ いろいろな勉強で、自分の考えを発表するのは好きですか。それは、どうしてですか。			
好き	3人	まあまあ好き	0人 嫌い 0人
好きの理由 ・楽しく勉強ができるから。 ・発表すると、お友達に褒めてもらえるから。 ・自分の考えを伝えないといけないから。			
⑧ いろいろな勉強で、友達と話し合うのは好きですか。それは、どうしてですか。			
好き	3人	まあまあ好き	0人 嫌い 0人
好きの理由 ・お友達の理由が聞けたり、私の理由を教えてあげられたりするから。 ・おもしろい話も聞きたいから。 ・いろいろなことが分かるし、楽しいから。			

(考 察)

【道徳的価値から①~⑥】

①~③から、3人ともよいと思うことを進んでしたいと思っており、実際に実践していることが分かる。また、よいことをしたことで、満足感や達成感を味わうこともできている。また、よいことだと思ったのに、できなかった子どもは一人しかいなかったが、他の児童も全て思った通りにできているわけではないと思われるので、なぜできないことがあるのか視点を与えて考えさせていきたい。

④~⑥から、子どもたちはよいこと・悪いことの判断はできている。また、いけないことをしている人には注意したいと思っていることが分かる。ただ、自分自身の事柄では、やってしまった後に反省する気持ちや素直に謝る気持ちがあるものの、そうなる前にどうしたらよかったのかというところが弱いので、どんな気持ちが必要だったのかを考えさせていきたい。

【研究主題との関連から⑦~⑧】

⑦~⑧から、子どもたちは発表することや話し合うことが好きであることが分かる。3人しかいないため、一回の発表だけでなく、いろいろな考えを出したり、前の考えに付け足したりして何回も発表することで授業も成り立っている現状である。しかし、自分の考えをもつまでに時間のかかる子どももいるので、友達の意見を聞くことでヒントをもらいながら、しっかりとした根拠をもって、話し合わせる活動の設定をしていくようにしたい。

3 指導の全体（事前事後指導・他教科との関連）

次	道徳科の関わり	他教科活動の関わり	行事・体験活動など
事前	<p>＜雨上がり（善悪の判断，自律，自由と責任）＞ 「このままじゃいやだな」と感じたり，「どうしようかな」と，迷ったり，「よしやろう」と自分で決めたりすることの大切さが分かり，よいと思ったことを自分から進んでやろうとする心情を育てる。</p> <p>＜「まいごのすず」（親切・思いやり）＞ 相手のことを考えて，親切な行為をすることの大切さが分かり，相手のことを考えて親切な行為をしていこうとする態度を養う。</p>	<p>生活科：「わくわくどきどきしょうがっこう」 「めざせいきものはかせ」</p> <p>小学校1年生になって，どんなことをしたいか，どんな1年生になりたいのか希望をもって生活しようとする。</p> <p>生きもののことを知り，命の大切さを考え，住みやすいすみかを作る。</p> <p>国語科：「なんていおうかな」</p> <p>嬉しい・悲しいなどの気持ちをどんな言葉で伝えたらよいのか考える。</p>	<p>入学式 1年生を迎える会 交通教室 全校朝会 児童集会 健康タイム なかよし体育 なかよし音楽 音読発表会 避難訓練 水泳大会 始業式 終業式</p> <p>常時活動 ○係や日直の仕事 ○飼育当番 ○給食当番 ○朝のボランティア活動 ○たてわり班掃除 ○帰りの会の「今日のキラリ」発表</p>
本時	<p>主題名：よいと思うことをすすんで 教材名：水の広場（学研「新・みんなの道徳2年」） 中心価値：A-（1）善悪の判断，自律，自由と責任</p>		
事後	<p>＜みんなのニュースがかり（善悪の判断，自律，自由と責任）＞ 過ちを認め，自分がよいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てる。</p>	<p>国語科：「むかしばなしが面白い」</p> <p>昔話を通して，よいことと悪いことの判断を正しく行うことが大切なことに気付く。</p>	

4 研究主題（仮説）とも関連

研究主題と本授業を関連付けていくために、次のような手立てをとっていく。

(1) 仮説1 道徳の時間において、考え・議論する場や方法、自覚化を促す工夫をすることで、**深い学び**が実現するのではないか。

- 登場人物の気持ちを自分の問題として捉えさせるために、ペープサートを活用する。
- 問いかけを行う際に、考える視点を与えることで、揺さぶりをかけ、思考を促す。

(2) 仮説2 板書や資料等の指導方法を改善したり、見取りの視点を設定し評価につなげたりすることで、指導に生かし、**道徳性を高める**ことができるのではないか。

- 登場人物の揺らぐ気持が可視化できるように、挿絵や子どもから出てきた言葉を対比させて板書する。
- 見取りの視点に沿った本時の目標を設定し、指導に生かすことで道徳性を高める。

5 本時

(1) ねらい

よいと思うことを進んで行うことのすがすがしさに気付き、小さなことでもよいことを進んでしようとする意欲を高める。

- 見取りの視点と本時の目標（具体的な姿）

視 点	① 価値理解，人間理解，他者理解などの道徳的価値を自分自身との関わりの中で深めているか。	② 多面的・多角的な考え方へ発展しているか。	③ 自己の生き方について考えを深めているか。
具体的な姿 (下学年)	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や気持ちを自分のこととして考えている。 (発言) ・自分の生活や考えを見直そうとしている。 (反応・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と違う意見や立場を受け入れている。(ワークシート・発言) ・登場人物の行動をもっとこうしたらよいのにと考えている。(ワークシート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を終えて、自分はこうしたいという気持ちを言葉や文字に表している。 (ワークシート・発言)

(2) 指導に当たって

① 気付く

アンケートの結果から、これまでの生活を振り返らせ、本時の主題にかかわる「善悪の判断」について迷う弱い心をもっていることに気付かせ、めあてを立てるようにする。

② さぐる・見つける

教材文を読み、人物相関図を用いることで対比している2つの気持ちに気付き、感想を通して考えていきたい場面や価値を焦点化する。また、登場人物の気持ちに迫るために、ペープサートを用いる。

③ 深める

「これまでの自分」「授業で学んだこと」「これからの自分」の観点でワークシートに書くことで、自分はこれからどうしていきたいのかという意欲の高まりを捉えさせる。

④ 高める

よいと思ったことをすることに迷うこともあるが、自分を信じて実行することの大切さを感じさせ、これからの実践に向けて意欲を高めさせる。

(3) 実際

指導課程	主な学習活動・予想される児童の反応	時間(分)	教師の具体的な働きかけ ※評価(評価の手段)
価値の意識化	<p>1 アンケートの結果から、考えていきたい問題に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中に手遊びすることはいけないことだ。 ・ 遊んでいるときは手伝いたくない。 ・ 嘘はいけないから、誤らないとだめだ。 <p>2 めあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>よいとおもったことをするためには、どんなきもちがたいせつだろう。</p> </div>	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの結果を提示し、よいことか悪いことか、自分ならどうするかを思い起こさせる。また、なぜいけないことだと分かっているのに、してしまったのかも考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業中の手遊び ○ 遊んでいるときのお手伝い ○ つい、嘘をついてしまった時 <p>※ 自分の生活や考えを見直そうとしているか。(反応・発言)</p>
価値の焦点化・追求	<p>3 教材文「水の広場」を読んで、考えていきたい問題について話し合う。</p> <p>(1) 水の広場で遊んでいる少し大きな子どもたちが見えたとき、みらいくんたちはどんなことを考えたのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊んだらいけないのにな。 ・ かんばんに気付いていないのかな。 ・ 危ないな。 ・ なんで遊ぶのかな。 <p>(2) みらいくんは、なぜ考えてしまったのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ だめだよ。大きい子に怒られるよ。 ・ 仕返しされたらどうしよう。 ・ いけないことをしているのに、どうして止めるの。 ・ いいことなんだから注意しようよ。 <p>(3) 自分だったらどちらの行動をとるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いけないことをしているから、あすかさんのように注意する。 ・ 大きな子たちに注意するのは、ちょっと怖いから迷ってしまうかも。 	27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物、場面の状況を簡単に説明して資料を範読する。 ・ 人物の相関図を示すことで、話のあらすじを確認し、考えていきたい問題を焦点化する。 ・ みらいくんもあすかさんもいけないことだと思っている考えが同じであることを確認する。 <p>・ みらいくんの気持ちを引き出すために、注意する対象が「少し上の子」「同じ一年生」「知らない上の子」だったらどうするのかという視点を与え、その根拠を明らかにしながら発言させる。</p> <p>※ 登場人物の行動や気持ちを自分のこととして考えているか。(発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どちらの行動をとるかネームプレートを貼らせ、それはなぜなのかを話し合わせる。 ・ あすかさんとみらいくんの気持ちを、ペーパーサートを使って表現することで自覚化を促す。 ・ もし、何も注意しなかったら、大きな子たちはどうなるか想像させる。 <p>※ 自分と違う意見や立場を受け入れているか。(ワークシート・発言)</p>

		<p>・ぼく・わたしなら～する。</p> <p>4 よいと思ったことをするためには、どのような気持ちが必要なのかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>よいとおもったことをするためには、ゆうきをもつことやあいてのことをかんがえるきもちがたいせつだ。</p> </div>		<p>※ 登場人物の行動をもっとこうしたらよいのにと考えているか。(ワークシート・発言)</p> <p>・ これまで考え、話し合ったことを基に、どんな気持ちが必要なのかを子どもの言葉で表現させる。</p> <p>・ どちらの考えも認めたとうえで、よりよい方法は何かを確認させる。</p>
価値の自覚化	深める	<p>5 これまでの自分を振り返り、今後大切にしていきたい気持ちについて考える。</p>	7	<p>「これまでの自分」「授業で学んだこと」「これからの自分」という観点で考えたことをワークシートに書かせる。</p> <p>※ 自分の生活や考えを見直そうとしているか。(ワークシート・発言)</p> <p>※ 授業を終えて、自分はこうしたいという気持ちを言葉や文字に表しているか。(ワークシート・発言)</p>
価値の意欲化	高める	<p>6 教師の説話を聞く。</p> <p>よい行いをしてくれる一年生3人の姿について話し、今後もよいことをしていく大切さを説く。</p>	5	<p>・ よいことをした時とできなかった時の気持ちを対比して考えさせる。</p> <p>・ よいことか・悪いことかを判断して行動に移すことは、自分の心が決めていくことを伝える。</p>

板書計画

みずのひろば

よいとおもったことをするためには、どんなきもちがたいせつだろう。

「ちよつとまつてよ。」

わるいことだ

もやもや

よいことがしたい

あすかさん

みらいくん

すっきり

よいとおもったことをするためには、ゆうきをもちことやあいてのことをかんがえるきもちがたいせつだ。

- ・あそんだらいけないのにな。
- ・かんばんにきづいていないのかな。
- ・あぶないな

- ・いけないことをしているのに、どうして。
- ・いいことなんだからちゆういしようよ。
- ・けがをしてしまうかもしれないよ。

- ・だめだよ。おおきいこにしかられるよ。
- ・しかえしされたらどうしよう。
- ・こわいな。

わるいことだ

もやもや

よいことがしたい

